KMTL-ET/PTS 引張試験要領書(金属一般)

試験コード	品 種
MT1	炭素鋼・低合金鋼(金属一般)の丸棒引張試験
MT2	炭素鋼・低合金鋼(金属一般)の丸棒引張試験(加工済み試料)

統計処理はMT1とMT2を併せて行います。

1. 試験項目: 引張試験における引張強さ、0.2%オフセット法による耐力、破断伸び、絞り、破断位置を測定する。
2. 試験方法: JIS Z 2241(金属材料引張試験方法)の方法にて試験を行って下さい。
他の方法で行う場合はその理由をコメント欄に記載して下さい。
3. 試料と測定方法: 丸棒素材が2本同封されています。これを試験所でJIS Z 2241(金属材料引張試験方法 付属書D)の14A号丸棒試験片(直径:10mm, 標点距離:50mm)に加工して、試験を行って下さい。2本はそれぞれ異なる素材ですので、試験片加工時に間違えないようにご注意ください。試験片加工は外部に発注しても良い。
加工済み試料はそのまま試験して下さい。
4. 結果の報告:
引張強さ、0.2%オフセット法による耐力、破断伸び、絞り、破断位置(A~C)を報告する。
引張強さ、耐力は、 N/mm^2 の単位で整数表示とする。破断伸び及び絞りは小数点以下1桁までのパーセント表示とする。
使用した測定機器名及び測定条件を報告して下さい。
貴所で通常測定しない項目または評価を希望しない項目については、報告の必要はありません。FQAのみを対象とするナット試験所は引張強さのみでよい。
報告用紙(データシート)のエクセルファイルは、KMTLウェブサイトよりダウンロードし、測定結果を記入の上、E-mailでお送り下さい。
KMTLウェブサイトは以下の通りです。
¥¥kanri-svr2¥public¥KMTL-ET_PTSホームページ¥KMTL-ET_PTS¥html¥index.html
→ 最下段の関連文書内の報告用紙をクリック
結果送付先は、E:mai : m-ichihashi@kmtl.co.jp です。
FAXでの正式受領はいたしかねます。
5. 結果送付締切り期限 : 2015 年 5 月 25 日

以上

EQF-009-2